

第7回 八王子市社会福祉審議会高齢者福祉専門分科会 高齢者計画・介護保険事業計画策定部会 委員からの意見と回答

| No. | ご意見・ご質問等  | 回答   |
|-----|---|--|
| その他 |   |  |
| 1   | <p>①今回（第9期の計画策定部会）は、ロジックモデルを作成し重要なモデルを、グループ討議を重ね、「計画策定の方針」を定め、「安心」「希望」「未来」の3つのキーワードを「誰もが」の言葉ですべての世代にもキーワードが及ぶことを願う9期計画の「基本理念」としました。<br/>最後の策定部会で、素案に対するパブコメの結果を踏まえ、9期計画の施策がスタートすることになります。委員の皆さんからの意見は、計画に対する思いがそれぞれの立場での貴重な意見で心に残るものがありました。</p> <p>②高齢化が進むなか、すでに介護認定者が700万人と言われ更に2025年問題を考えると、包括の役割は重いと思います。今後ますます地域との連携が問われます、地域のネットワークを構築し定期的に地域ケア会議を開催してしっかり高齢者を支援しなければなりません。<br/>そのためには、包括が地域の”はちまるサポート”と一体となって、地域と密着して対応していくことが不可欠です。基幹型包括もしっかり現場を支援する必要があります。その意味で行政も大変ですが現場を認識して、ポイントを置きながら体制の運営に注力していただきたくお願いいたします。</p> <p>③一方で、自立支援の問題では、高齢者が、自覚を持って自身の健康維持に向けて努力を促すことが大事です。また、一例を挙げれば「通所C」の終了後のフォローをどのように行うかの問題があります。要するにこれらの問題は、高齢者の自立支援の体制をどう構築するかであり、そのためには特定の機関だけで解決はできないと思います。地域ぐるみで見守り支援体制を関係者、関係機関が連携して創出する必要があります。大変厳しいことですが。</p> <p>④介護人材については、一般社会の中で外国人も含めて、介護に関わっても良いと考えている人を募り、可能な限り待遇を考慮し育成をしていく制度の構築が必要です。今後、要介護認定者数は増加することは明らかです。福祉の担い手として世の中の危機意識と相まってこの問題も対応することが大事です。まさしく行政と現場と地域が一体となって取り組むことが肝要です。<br/>*9期介護保険事業計画に対する施策推進の中で避けて通れない問題と、私が考えている一端を記述いたしました。宜しく配慮、推進をご苦労ですがお願いいたします。</p> <p>⑤私も、地域の市民センターを拠点にした住民協議会の活動の中で、高齢者福祉の問題を考慮した対応（サロンなど）を、包括由井・はちまるサポート由井などと連携し進めていきます。その折には、必要な知恵などをいただければ幸いです。よろしく願いいたします。</p> <p>⑥行政の福祉に関する委員を担当して、高齢者問題の勉強をさせていただき、ありがとうございました。感謝申し上げます。</p> | <p>②高齢者支援には地域との連携、ネットワークの構築は不可欠なものと考えております。次期計画における「高齢者あんしん相談センター」の運営におきましては、地域連携、ネットワークづくりの推進を図るため、計画的に地域ケア会議を開催することを契約内容に組み込み、市内全域で一定水準の取り組みがなされるよう見直しを行います。また、8050問題等複雑・複合化した問題解決には、はちまるサポートをはじめ、他機関と連携することはもとより、基幹型包括支援センターにおきましても、庁内連携を深め地域包括支援センターへのより一層の後方支援を行ってまいります。</p> <p>③通所Cを終了した高齢者の方がセルフマネジメントを継続するためには、リハビリ専門職と生活支援コーディネーターの連携が重要と考えています。住民団体等を含めた幅広い主体による支援を提供できるよう、今後も引き続き多職種連携を推進して参ります。</p> <p>④介護人材の確保は制度の根幹にかかわる重要課題であることから、計画に記載した様々な取組を着実に実施するほか、事業者と連携した対策検討や国や都への要望を引き続き進めてまいります。</p> <p>①⑤⑥ 基本理念である「誰もが安心と希望をもって歳を重ねられる、未来につながるまち」の実現に向けて、本計画の取組を市役所一丸となって進めてまいります。本計画の策定にあたって、委員の皆様には多大なご協力をいただきましたこと、改めて深くお礼を申し上げます。今後とも何卒よろしく願い申し上げます。</p> |
| 2   | <p>この事業計画を推進することにより八王子市の介護保険事業はさらに改善されると確信しております。さらに日々の運営の中で改善を進めていく必要があると考えます。</p>   | <p>ありがとうございます。<br/>高齢者福祉専門分科会でも随時報告・議論を行いながら、素早いPDCAサイクルを重視して計画を推進してまいります。</p>   |